

活動名	キャンドルの集い				
	ロウソクの炎を見つめ、つどいの参加者一人ひとりが、自分の過去を振り返り、現在を見つめ明日に向かっていかに生きるべきかを考えたり、また、仲間意識をつくりあげてくセレモニー（儀式）です。				
活動のねらい	○燃え上がる炎を囲みながら、心身を躍動させ、研修への意欲を高めます。 ○創意と工夫を凝らした発表を鑑賞する中で、仲間との交流を図り、集団の連帯意識を培います。				
育つか、身につく力					
活動条件	実施場所	体育館・武道館 など		集合場所	実施場所
	所要時間	60 分間程度		人数	～100 名程度
	開始可能時間	—		対象	小学4年生以上
	実施時期	通年		その他	キャンプファイヤーの荒天時プログラムとしての活用にも最適
	職員による指導の内容	こちらは自主活動になります。職員による指導はありません。			
	引率者の役割	活動の説明・進行・安全指導			
	準備するもの	交流の家で用意するもの（貸出し）		購入していただくもの	
☆キャンドルの集いセッソー式 ・事務室→懐中電灯、マイク ・体育館器具室 A→中央燭台、手持ち燭台、ブルーシート、スクレーパー		☆ロウソク ※持参可 （10cm10円、14cm20円、大500円）			
		団体で用意するもの			
		☆必要な音源（CD等）			
活動の流れ	活動項目	所要時間	活動内容（例）		
	活動準備 会場準備	10分	<input type="checkbox"/> 必要な物品を準備する。 ・懐中電灯とマイクを事務室から借りる。 <input type="checkbox"/> 音響の確認を行う。 ・放送室内の機器を操作し、音量等を確認する。 <input type="checkbox"/> 会場を設営する。 ・ブルーシートを敷く。 ・中央燭台を置く。 ・手持ち燭台を会場に用意する。		
	活動	50分	<input type="checkbox"/> 活動を実施する。 ・火の取り扱いに注意する。 ・薄暗いため足元に注意する。 ※参考として別紙の展開例をご確認ください。		
	片付け	10分	<input type="checkbox"/> 会場の片付け <input type="checkbox"/> 借用物品の返却		
注意事項	○静かな落ち着いた雰囲気をつくってからはじめるようにします。 ○特に小学生が対象の場合は、ロウソクの火をおもちゃのように扱い、火が他のものに燃え移ったり、やけどをしたりしないように、活動の始めに必ず取り扱い方を指導してください。 ○人数が多い場合は、火守を何人か出して、火が全員に早くいきわたるようにします。				



展開例

開会の 言葉

()月()日、この大雪の山に日は落ち、原生林の木立ちに、静かな、夜のとばりが訪れました。
ただいまより、(団体名)、()名によりますキャンドルのつどいを行います。

聖火 入場

友情の灯(ともしび)を迎えます。
全員で(曲名)を歌いましょう。《友情の灯入場後》
ここ大雪青少年交流の家は、昭和41年10月16日に、幾多の困難を乗り越えて、国立では、第4番目の施設として誕生しました。さきほど、(聖火棒持者:)によって入場してきました友情の灯は、青少年交流の家がオープンするにあたって、全面にそびえる標高2,077mの十勝岳の山頂において採火されたものです。
以来、この青少年交流の家を訪れた利用者に引き継がれ、守り育てられてきた灯です。

営火長 に点火

それでは、この友情の灯を、本日の営火長である()に点火していただきます。

火守に 点火

(営火長:)に点火された友情の灯を、()人の火守のみなさんに点火していただきます。

燭台に 点火

これより、友情の灯が、中央燭台に灯されます。
火守の方は、中央の燭台のすべてのろうソクに火を灯してください。

黙 想

今、友情の灯が中央燭台に灯りました。
一人一人、目の前の炎を見つめながら、心を静かに落ち着けましょう。

営火長の ことば

本日、営火長をつとめてくださいます(営火長:)にお話をさせていただきます。
()月()日より、この青少年交流の家で生活してきましたが、いよいよ今日が、最後の夜となりました。
この静寂の中で、友情の灯がともされました。そして、永遠の幸せのシンボルであるかのように、美しく燃えています。古来より、人類は、この火をどんなにか大切にしてきたことでしょう。
今、友情の灯は、光輝き、大きな絆となりました。このキャンドルのつどいによって確かめられた希望と感激を、これからの生活に生かし、自己の情熱の灯として燃やし続けることを祈ります。

交歓の 時間

これからのひとは、()からの発表で楽しく進めてまいります。

全員に 点火

これより、友情の灯が、1人1人のろうソクに灯されます。
火守の方は、1列目の方に火を移してください。
続いて、1列目の方は2列目の方に火を移してください。
最後に、2列目の方は3列目の方に火を移してください。

- 火を渡す人は、燭台をまっすぐに立てる。
- 火をもらう人は、燭台を傾ける。
- 火をつきけたら、燭台をまっすぐに立てる。

黙 想

今、1つの灯が、(参加者数)の灯となり、友情の灯が受け継がれました。
一人一人、目の前の炎を見つめながら、心を静かに落ち着けましょう。
そして、これまでの活動をふりかえり、今後の目標に向かって、自分がどのように行動したらよいか考えましょう。

代表者の ことば

ここで(代表者)にお話しをしていただきます。
私たちは、今日、友情の灯を受け継ぎ、こうして灯を燃やし続けています。炎をみつめながら、これまでの自分をふりかえるとともにこれからの生き方について考えることができました。一つ一つの小さな灯となったとき、お互いの心の美しさと、心の結びつきを、強く感じました。
美しく、あたたかく燃え続けるこの灯のように、私たちも毎日の生活を心豊かに送ることができたら、どんなに幸せなことでしょう。
この灯が私たちの、新しい出発となることを祈ります。
最後に、このキャンドルのつどい、そして、私たちの活動を支えてくださった方々に、心から感謝いたします。

灯を消す

今日のこのつどいも、やがて終わろうとしています。もう一度、手元の灯を見つめてください。様々な思いが浮かんでくることでしょう。
では、3列目の方、火を消してください。
次に、2列目の方、火を消してください。
続いて、1列目の方、火を消してください。
次に、火守り、営火長の方、火を消してください。
最後に、火守りの方は、中央燭台の一番上のろうソク1本を残し、火を消してください。

消し方

- 片手でろうソクを、片手で燭台を持つ。
- ろうソクを燭台からはずす。
- 炎の上から燭台の底を近づける。
- 燭台の底を炎に押し付けるようにして消す。

友情の灯 退場

みなさんの胸に燃え続ける友情の灯が退場します。
全員で(曲名:)を歌いましょう。

閉会の ことば

以上で、キャンドルのつどいを終わります。